

山梨大学(医病)病棟Ⅲ新営その他工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
1	入札公告 1(5)	工期について、【山梨大学(医病)病棟Ⅲ新営に伴う東病棟等とりこわし工事】の入札の際には、令和3年6月30日(16カ月)が完成期限でしたが、本工事の工期は令和4年3月31日(18カ月)となっています。新築完成までの工期が短すぎますが最終的な完成期限は施工業者決定後、協議の上決定することよろしいでしょうか。	1	原則工期は令和4年3月31日とします。 国立大学法人山梨大学が定める工事請負契約要綱、別記工事請負契約基準第21に基づき協議するものとする。
2	現場説明書 P8	(9)-1③各年度の支払限度額において、令和2年度工事出来高割合(B)の表記がありません。出来高割合をご教授願います。	2	変更指示No.1を参照ください。
3	工期	下記の工事可能時期を教えてください。 ・仮囲設置、事務所設置(駐車場とされている部分が工事エリアとなる日) ・東病棟、西病棟、中央診療棟、病棟Ⅰ、病棟Ⅱの仮間仕切り設置 ・内装解体着手(東病棟内の引っ越し、備品撤去完了日)	3	工事エリア内の駐車場等は契約後速やかに使用中止とします。工事用仮設等の設置は契約後速やかに設置を進めてください。 改修等に伴う既存建物の仮間仕切り設置時期は、契約後協議とします。 東病棟等の内部着手時期は令和2年11月1日以降可能です。併せて変更指示No.3を参照ください。
4	T-2	建築工事特記仕様書の3章 土工事の埋戻し及び盛土について、「躯体解体で発生するコンクリート屑及び構内に堆積している良質な根切り土を使用し」と記載がありますが、コンクリート屑を埋戻す行為は廃棄物処理法違反に該当する可能性があります。体積土、根切り土のみを埋戻しに使うとして宜しいでしょうか。 または、コンクリート屑を埋戻し土として使用する場合、RC-40以下まで粉砕し埋戻しすることを監督官庁と協議し承諾を得れば、埋戻しが可能となる場合もありますが、監督官庁と協議が完了し、了解を得られているとしてよろしいでしょうか。 大学参考内訳書内にコンクリート屑埋戻し用コンクリート新設壁ともありますが、場所、仕様が不明です。構造図、仕様書にご教授願います。	4	解体対象建物の地盤面下のピットの空隙を充填するための仮設的な埋戻し用として利用する。建物のガラや発生土を利用するものであり、外周に新設用山留完了後には、全て基礎解体と共に撤去処分することになります。よって廃棄物処理法に抵触する行為には該当しない。 なお、コンクリート新設擁壁の仕様は、SK-2図による。
5	建築図 機械設備図	機械設備図には防火区画、防火上主要な間仕切り、防煙区画のカラーで色分けの記載がありますが、建築図もこれに準ずると考えて宜しいですか。	5	図渡し図が正となります。
6	T-19	改修工事特記仕様書について、「石綿等の取り扱いについては、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)を遵守すること」と記載がありますが、令和2年7月1日に石綿障害予防規則が改定され、令和2年10月より、ケイ酸カルシウム板1種を切断等で除去する場合には隔離が必要となります。隔離するための養生費用等は見込むことよろしいでしょうか。	6	該当する成形板撤去については、解体エリアの出入口部及び外部サッシがある部分については、シート養生するなどし、飛散防止に配慮ください。
7	T-7 D-100	特記仕様書T-7に床点検口 600×600に○が付いていますが図示がありません。設置場所、設置箇所をご指示ください。	7	T-7図が誤記のため□600の床下点検口は該当ありません。併せて変更指示No.4を参照ください。
8	T-13	外壁改修、施工数量調査について、改修特記仕様書(2)に適用○がありますが、調査費用を見込むと考えるとよろしいですか。 又、調査に於いて、ひび割れ・欠損・漏水か所がある場合は別途、実数精算工事と考えるとよろしいですか。	8	該当なしに変更とします。併せて変更指示No.5を参照ください。
9	D-9 D-29他	バルコニー軒天仕上がD-9ではFBア8(フレキシブル板)+複層塗装Eですが、Ⅱ期工事の軒天はFK(けい酸カルシウム板)ア8+複層塗装Eとなっています。FK(けい酸カルシウム板)ア8+複層塗装Eと考えるとよろしいですか。	9	宜しいです。併せて変更指示No.6参照してください。
10	D-36 D-61	D-36 目隠し壁 空調機械室1側 ECPア60+複層塗装E D-61 目隠し壁 空調機械室1側 有効折版W250×L3000@400(南面のみ) 空調機械室2側 有効折版W250×L3000@400(南、東面のみ) 不整合がありますが、Ⅱ期工事と同様と考えD-61を正として宜しいでしょうか。	10	D-36図が正となり、D-61図が誤記です。併せて変更指示No.11参照してください。

山梨大学(医病)病棟Ⅲ新営その他工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
11	D-16 D-116	共同溝について、既存壁に開口補強筋先施工とありますが、補強要領が不明です。 補強要領をご指示下さい。	11	縦横D16,斜めD13のダブル配筋としてください。
12	D-116	共同溝について、耐圧版のみ既存取合部に接着系アンカの図示がありません。 壁や天井躯体も既存と取合う場合には同様の接着系アンカを使用すると考えてよろしいですか。	12	宜しいです。
13	D-16 D-109	換気口について、ピット平面図A1通りに換気口の図示がありますが構造図がありません。 換気口の構造図をご指示下さい。 また、仕様や詳細についても図示がないのでご指示ください。	13	変更指示No.22、30を参照してください。
14	D-68 D-109	屋根Ⅲ-2,室外機置場のメンテナンスデッキ手摺について、手摺の設置範囲をご指示下さい。	14	変更指示No.12を参照してください。
15	D-51 D-71	2階廊下,収1・2・STについて、置場のみで収納家具等は別途と考えてよろしいですか。	15	宜しいです。
16	D-76 ~83 D-105	防煙カットスチールパネルについて、天井伏図凡例、共通詳細図に記載がありますが、伏図に記載がありません。該当無しと考えてよろしいですか。	16	宜しいです。
17	D-30 D-111	SLWレールについて、 SLW本体は別途工事ですが、SLWレール(D-111(6):アルミレール)は本工事として見込むと考えてよろしいですか。 その場合、別途SLW本体用のレール品番がございましたらご指示下さい。	17	宜しいです。 メーカー指定はありません。なお、発注前に監督職員の承諾を得てください。
18	D-12 D-51	2階陰圧室,ステンス流し台について、内部仕上表でS-2100(備品)に取消線が引いてありますが、平面詳細図では記載があります。 本工事で見込むと考えてよろしいですか。	18	D-12図の通り、本工事ではなく別途備品工事です。
19	D-107	WC,物置棚について、D-107(2)に記載ありますが、HCWCも含め各ブ-ス内に1か所ずつ見込むと考えてよろしいですか。	19	宜しいです。
20	D-100 ~105	共通詳細図記載項目について、下記項目の施工範囲が不明です。 今回工事では該当無しと考えてよろしいですか。 ・木製上框 ・床下点検口(600x600・1200x600) ・ステンスタラップ(ピット) ・ステンス梯子 ・中間吊りカ-テンレール ・暗幕ボックス	20	・木製上框は該当なし ・床下点検口(600x600・1200x600)該当なし ・ステンスタラップ(ピット)該当あり。変更指示No.22を参照。 ・ステンス梯子該当あり。(安全ガード付き)D-109図6番も参照。 ・中間吊りカ-テンレール該当なし。変更指示No.21を参照。 ・暗幕ボックス該当なし。変更指示No.21を参照。
21	D-21 D-22 D-66 D-68	屋根Ⅲ-4,5について、塩ビ系シート防水(機械式固定)S I -M2工法と記載がありますが、D-21,22では水勾配が1/100と記載があります。 露出防水の場合、水勾配は1/50~20としなければなりません、水勾配は1/50~20にするものとしてよろしいですか。 また、屋根Ⅲ-1,2について水勾配が記載されていませんのでご指示ください。	21	屋根Ⅲ-1(塩ビ系シート防水): 1/50(水下:Y5通り±0~水上:Y4通り+140) 屋根Ⅲ-2(屋根保護防水断熱工法): 1/50 屋根Ⅲ-4(塩ビ系シート防水): 1/50 屋根Ⅲ-5(塩ビ系シート防水): 1/50 としてください。併せて、変更指示No.13を参照ください。

山梨大学(医病)病棟Ⅲ新営その他工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
22	D-99	D-99-10に断熱材仕様の記載がありますが、コールドブリッチ対策のため外壁面から600mm断熱材を折り返すものとしてよろしいですか。	22	設計図書通りです。
23	D-115	屋上の設備基礎、排水工、ドレン廻りなどの外断熱が出来ない部分に関しては、コールドブリッチ対策のため、スラブ下に外断熱と重ね代600mmの断熱補強を設けるものとしてよろしいですか。	23	仕様はD-106図 3番Cタイプです。
24	D-99	鉄骨貫通部 耐火被覆材について Ⅱ期工事時には設計図書に記載があり、施工を行った耐火材(6×20 FP060BM-0322-3、FP120BM-0390-1同等品)は使用不可と考えて宜しいですか	24	宜しいです。
25	D-99	免震棟:耐火被覆について、使用材料表にセラミック系耐火被覆の図示がありますが、施工範囲が不明です。 セラミック系耐火被覆は使用しないと考えるとよろしいですか。 また、使用する場合には施工範囲をご指示下さい。	25	宜しいです。
26	D-111	サイン工事については、D-111 8 免震建物表示サインのみと考えると宜しいですか。	26	宜しいです。
27	D-94	AW-13・14のオペレーターについて、手動式と考えるとよろしいですか。	27	設計図書記載の仕様はワンタッチで一斉開放とし閉鎖時には手動でハンドルを回す仕様です。
28	D-35 D-94	AD-1のH寸法について、D-35の1階1部断面詳細図ではH2660(2200+100+360)ですが、D-94の姿図ではH2300です。H2300を正と考えるとよろしいですか。 H2660が正の場合、建具表をご指示下さい。	28	宜しいです。
29	D-84 D-95 ～ D-98	ICカードリーダー及びテンキについて、D-95～98図の備考に記載がありますが、D-84図の電気錠 工事区分に設備工事とあります。ICカードリーダー及びテンキは設備工事と考えるとよろしいですか。	29	ICカードリーダーは電気設備工事とし、テンキー錠は本工事としてください。併せて変更指示No.14を参照ください。
30	D-54 D-95	SD-4Bについて、D-95図の備考にテンキの記載がありませんが、D-54図の3階 研修室にテンキとあります。D-54図を正と考えるとよろしいですか。	30	宜しいです。
31	D-57 D-95	4階 看護師休憩室のSD-4Aについて、D-95図の備考にテンキの記載がありませんが、D-57図にテンキとあります。 D-57図を正と考えるとよろしいですか。	31	宜しいです。
32	D-84 D-95 D-98	SD-4B・SP-3C・9のガラスについて、D-84・95・98図にFP5(耐熱ガラス t5)とありますが、耐熱強化ガラス t5と考えるとよろしいですか。	32	宜しいです。
33	D-36 D-95	SD-8のH寸法について、D-36図の2階 注射薬剤調整室ではH2100ですが、D-95の姿図ではH2000です。 H2000を正と考えるとよろしいですか。	33	宜しいです。
34	D-36 D-95	LD-5のH寸法について、D-36図の3階 共用カンファレンスではH2100ですが、D-96の姿図ではH2000です。 H2000を正と考えるとよろしいですか。	34	宜しいです。

山梨大学(医病)病棟Ⅲ新営その他工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
35	D-58 D-96	4階 共用カンファレンス LD-5のW寸法について、D-58図ではW1500ですが、D-96図ではW1300です。W1300を正と考えてよろしいですか。	35	宜しいです。
36	D-55 D-96	3階 倉庫2 LD-5CのW寸法について、D-55図ではW1200ですが、D-96図ではW1300です。W1300を正と考えてよろしいですか。	36	宜しいです。
37	D-55 D-96	3階 廊下 LD-5CのW寸法について、D-55図ではW1000ですが、D-96図ではW1300です。W1300を正と考えてよろしいですか。	37	宜しいです。
38	D-84 D-98	SP-1～14の仕上について、D-84・98図にメラ(エポキシ変成メラミン樹脂焼付塗装)とありますが、扉・枠共エポキシ変成メラミン樹脂焼付塗装と考えてよろしいですか。	38	宜しいです。
39	D-52 D-87	2階 前室1のSP-12について、D-52図にATとありますが、AUT(自動ドア)のことと考えてよろしいですか。	39	AT=エアタイトを示しています。併せて変更指示No.18を参照ください。
40	D-52 D-87 D-98	上記質疑正の場合、2階 前室1のSP-12について、D-98図では自動ドアの記載がありませんが、D-52図より自動ドアを見込むと考えてよろしいですか。	40	回答No.39と同様。
41	D-37 D-97	SSD-1のH寸法について、D-37図ではH2660(2100+100+460)ですが、D-97の姿図ではH2100です。H2100を正と考えてよろしいですか。H2660が正の場合、建具表をご指示下さい。	41	宜しいです。
42	D-97	SSD-2の挟込防護柵について、D-97図の備考に記載がありますが、仕様等詳細をご指示下さい。	42	SSD-2挟込防護柵は取りやめとします。
43	D-94	AW-4の腰窓ガラスについて、D-94図に記載がありますが、姿図に腰窓がありません。腰窓ガラスは該当なしと考えてよろしいですか。	43	宜しいです。
44	D-84 D-94	AW-5の腰窓ガラスについて、D-94の姿図に強化ガラス t5+飛散防止フィルム張とありますが、D-84図の複層ガラス種別凡例ではSL2(複層ガラス(P5)+(A12)+(T5))です。D-84図を正とし、強化ガラス面には飛散防止フィルム張を見込むと考えてよろしいですか。	44	姿図の表記は『複層ガラスの室内側を強化ガラスA5とし飛散防止フィルム貼りをする』の意味です。
45	D-94	AW-12 マジックミラーの厚みについて、t3と考えてよろしいですか。	45	宜しいです。
46	T-7	衝突防止表示について、T-7図のユニットおよびその他工事 表示に記載がありますが、該当建具が不明です。該当なしと考えてよろしいですか。質疑否の場合、該当建具を建具符号でご指示下さい。	46	宜しいです。
47	D-95	外部に面する鋼製建具については、鋼製枠部分に出幅150程度の小庇を設けるものとしてよろしいですか。	47	D-84図建具仕様書に記載の通り、AT枠及びPAT枠の場合については、出幅30mmの水切りを設置する仕様です。

山梨大学(医病)病棟Ⅲ新営その他工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
48	D-94	以下の項目について、 メ-カ-品番をご指示下さい。 ・フロストフィルム張(AW-15)	48	メーカー指定はありません。なお、発注前に監督職員の承諾を得てください。
49	ST-1	構造特記仕様書 5.コンクリート工事の、 種別欄について1FL以下は普通と記載がありますが注記の4では、 「基礎部は、高炉セメントB種の仕様を普通ポルトランドセメントとする場合は 工事監理者の承諾を得ること」と記載がありますが、 1FL以下は高炉セメントBとして考えて宜しいですか。	49	宜しいです。
50	SM-11	Ⅱ期工事時に指摘した大梁継手リストのH650×250×12×25の SPL-1,2について、板厚がt6、t9のままとなっています。 Ⅱ期工事に回答いただいたSPL-1,2共にt16と考えると宜しいですか。	50	宜しいです。
51	SM-34	免震ケガキ板の設置について、 設置箇所が2か所と記載がありますが、 Ⅱ期工事で設置している1か所とは別に新規で2か所と考えると宜しいです か。 もしくは、Ⅱ期工事で設置したものを含め2か所と考え設置資する箇所が、 図示されていませんが、B階段付近と考えると宜しいですか。	51	本工事設置箇所は1か所です。 設置場所はB階段付近で良いですが、取付前に監督職員と協議の上 決定してください。
52	SM-16～ 22	Ⅱ期建物、Ⅲ期建物が接続されるV3通りの各階スラブについて、 Ⅱ期工事時に想定している小梁が各スパンありません。デッキを受けるた めに 必要であるため、見込むと考えると宜しいですか。	52	設備シャフトであるため、小梁は設けません。なお、フラットデッキを 使用する際は仮設支持材を使用してください。 併せて変更指示をNo.24～26参照ください。
53	SM-45 ST-30	ひび割れ誘発目地について深さは、合計でコンクリート厚さの20%以上を満 たさないと効果的ではないため、目地材その他によってコンクリート厚さの20% 以上を確保するものとしてよろしいですか。 また、1階外部腰壁のコンクリートはひび割れが生じやすいため、天端も含め 1m程度の間隔でひび割れ誘発目地を設けるものとしてよろしいですか。	53	躯体断面の欠損は不可とします。ただし1FL腰壁については、縦筋の 無い位置で横筋を切断し、目地を設けても良いです。横筋切断位置 には添え筋を設けてください。
54	SM-24 D-115 D-68	SM-24にて設備架台鉄骨は意匠図によると記載がありますが、D-68図の 平面詳細図凡例とD-115図の設備架台鉄骨詳細図で梁のメンバーとGPL の厚さが違います。D-68図の凡例を正と考えるとよろしいですか。	54	宜しいです。ただし、D-68図のb材寸法はH-200x200x8x12,G.PL- 9.2-M20(F8T)が正となります。併せて変更指示No.12を参照ください。
55	DK-91 DK-92	中央診療棟 矩計図内に1～3階に天井、壁、床の内装撤去の記載があり ますが、DK-1～3に記載されている撤去範囲の点線外の室名が記載され ています。 1階:器材庫1、準備室他、2階:検査室、院内学級、3階:検収室b他 本工事範囲ではなく、別途工事範囲と考えると宜しいですか。	55	宜しいです。併せて変更指示No.34を参照ください。
56	DK-1～4 KD-79	臨床研究棟～中央診療棟の1階から4階に床壁天井EXP,Jカバー新設と 記載がありますが、工事時は仮間仕切りを行い最低2フロアごと通行止めと することは可能でしょうか。また、1階から4階についてはこの周囲に改修項 目がありませんが、必要とする工事でしょうか。	56	2フロアごとの通行止めは可能です。ただし、施工計画は監督職員 の承諾を得てください。 なお、1階から4階までの仕上げ改修は必要となります。
57	DK-116	病棟渡り廊下取り合い部について渡り廊下の解体した妻側の2階～7階部 分に 【既設仮設外壁(東病棟解体工事時に設置済み)】、【既設外壁を撤去、移 設再利用】と記載がありますが、既設外壁は設置されているもしくは別途工 事として考えると宜しいですか。 もしくは、既存外壁はなく図示されている位置に新規で仮設外壁を作成す ると考えると宜しいですか。	57	解体後仮設間仕切りの設置となります。 なお、変更指示No.35も併せて参照ください。
58	M-2305 他	外壁貫通部にて鉄骨梁の貫通部にφ200短管(建築工事)となっています が、建築図面には同様の記載がありません。設備工事と考えると宜しいです か。 また、建築工事で見込む場合、箇所、数量をご指示ください。	58	ST-30の記載内容に誤りがありました。変更指示No.31にて変更して いますので参照ください。 数量はST-38、39スリーブ図を参照ください。
59	全体	気送管設備は東病棟1階に気送管設備 自動交換器があるため、東病棟 とりこわしに伴い、中央診療棟、外来棟は使用できなくなります。 東病棟とりこわしの際に、別棟との切り離しのみ実施と考えると宜しいでし ょうか。 また、6階、7階の先行内部解体時も使用しないと考えると宜しいでし ょうか。	59	宜しいです。

山梨大学(医病)病棟Ⅲ新営その他工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
60	全体	医療ガス設備は、東病棟PS(配管シャフト)を經由しているため、東病棟とりにわしに伴い、西病棟は使用できなくなります。 西病棟医療ガス設備は2020年10月以降使用禁止と考えて宜しいでしょうか。 また、東病棟6階、7階の医療ガスは2020年4月以降にスタッフステーションのシャットオフバルブ以降を切り離すと考えて宜しいでしょうか。	60	宜しいです。
61	全体	東病棟とりにわし後は、西病棟は単独の建物と見なされるため、消火設備は、消防との協議により必要な対応が変わってきます。 スプリンクラー設備は建物切り離し部分での切り離し、西病棟近くの屋外消火栓設備は既存のままとして宜しいでしょうか。	61	宜しいです。
62	全体	東病棟とりにわしに伴い、別棟の設備運用で下記の影響が発生します。影響がないようにするための設備盛替え・仮設対応は別途工事としますが宜しいでしょうか。 ・気送管設備 中央診療棟、外来棟 使用不可 ・医療ガス設備 西病棟 使用不可 ・消火設備 消防法に適合させての西病棟 使用不可 ・東病棟-中央診療棟 2階 X12~X13(K~L)、Y7通り 切離しに伴い 中央診療棟側の排煙設備、スプリンクラー設備への盛替えが必要になりますが、中央診療棟を利用しながらの計画となるため、別途工事とさせていただきます。	62	宜しいです。
63	全体	自動制御設備 中央診療棟~中央機械室間の光ケーブルは東病棟外構のマンホールを經由しています。 東病棟とりにわしの際に、外構マンホールを經由した光ケーブルは既存のまま利用できるものとして、盛替えが必要な場合は別途工事としますがよろしいでしょうか。	63	宜しいです。
64	全体	RI設備は診断・調査費用のみ見積もりに含んでいます。 洗浄・撤去工事は調査・診断後に範囲・方法を決定し別途工事とさせていただきますがよろしいでしょうか。	64	宜しいです。
65	全体	感染排水処理槽の撤去に伴う消毒・洗浄費を見込む必要がありますか。 それとも消毒・洗浄済として着手してよろしいでしょうか。	65	消毒・洗浄し、撤去を行うようにしてください。
66	全体	自動火災報知設備 西病棟は切り離しのみとし、 迂回工事が必要な場合は別途工事としますがよろしいでしょうか。	66	宜しい。
67	全体	ベージング設備 西病棟は切り離しのみとし、 迂回工事が必要な場合は別途工事としますがよろしいでしょうか。	67	宜しい。
68		非常放送設備 西病棟は切り離しのみとし、 迂回工事が必要な場合は別途工事としますがよろしいでしょうか。	68	宜しい。
69		非常放送設備 中央診療棟は切り離しのみとし、 迂回工事が必要な場合は別途工事としますがよろしいでしょうか。	69	宜しい。
70		自動火災報知設備 中央診療棟は切り離しのみとし、 迂回工事が必要な場合は別途工事としますがよろしいでしょうか。	70	宜しい。
71		電灯・コンセント・動力設備・幹線設備 中央診療棟は切り離しのみとし、 迂回工事が必要な場合は別途工事としますがよろしいでしょうか。	71	宜しい。